# ヨコハマラバー（タイランド）カンパニーLTD.（YRTC）CSRレポート

**事業内容：** 建機用油圧ホースおよび自動車用パワーステアリングホース組立・販売、自動車フロントガラス用シーリング材生産・販売

**敷地面積：** 25,000m²

**従業員数：** 132名（2016年4月）

**所 在 地：** Eastern Seaboard Industrial Estate(Rayong), 64 moo 4, Tambol Pluakdaeng, Amphur Pluakdaeng, Rayong 21140 Thailand

**相談・苦情などの受付窓口：**

TEL：+66 38 954 625　FAX：+66 38 954 636

## 社長ご挨拶

山田　淳

ヨコハマラバー（タイランド）は、タイの首都空港スワナプーン国際空港より南東100kmに位置するイースタンシーボード工業団地内に1996年に設立され、本年21年を迎えました。工業団地周辺には、特産品のパイナップル、マンゴー、ドリアン畑が点在しており、自然環境豊かな場所にあります。

現在ヨコハマラバー（タイランド）では、建機用高圧ホース、自動車用油圧ホース配管および自動車用テフロンホース配管、自動車用ウインドシーラント材を生産し、主にアセアン諸国、インドに販売しています。特にタイ国内において、建機用高圧ホースおよび自動車用ウインドシーラント材は、高いシェアを維持しております。

また工業団地周辺が農業地帯であることから、工業団地の大気、水質基準は、国の基準よりも厳しい基準が求められていますが、当社の工場はこれを満たしています。さらに、安全、環境、品質の維持のため、ヨコハマラバー（タイランド）では、OHSAS18001、ISO14001、ISO9001、ISO/TS16949、JISQ50001の認証を取得し、継続しています。

## 組織統治

従業員規則の説明をミーティングで実施しました。

また、横浜ゴム行動規範にのっとったコンプライアンス順守の意識付けを行い、その意識継続と向上に努めています。

## 人権

会社規則に採用、労働可能な年齢を定め、本規則を使用して従業員教育を行っています。

2017年4月136名（日本人駐在員4名、タイ人役員2名、タイ人従業員130名）が働いており、男女別では、男性101名：女性35名です。管理職クラスは20名で、男女別では、男性14名（日本人3名、タイ人11名）：女性6名（タイ人6名）です。

中には、ハンディキャップのある方も1名（女性）います。

## 労働慣行

労働者からの苦情や提案は、『社長への提言BOX』に投書出来る仕組みになっています。これは、社長のみ閲覧可能で、従業員が直接社長へ提言できる様になっています。

## 環境

### 環境マネジメント

3つの目標を設定し取り組んでいます。

① 紙使用量の削減

② 廃棄物量の削減

③ シーラント製造における屑削減

## 環境

### 環境データ

| 項　目 | | 2012年度 | 2013年度 | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 廃棄物発生量 (t) | | 362 | 432 | 368 | 348 | 413 |
| 埋立率 (%) | | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 埋立量 (t) | | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| エネルギー使用量（原油換算：kl） | 電力 | 415 | 407 | 377 | 421 | 406 |
| | 燃料 | 144 | 133 | 124 | 117 | 114 |
| | 合計 | 559 | 540 | 501 | 539 | 520 |
| 温室効果ガス排出量（千t-$CO_2$） | | 1.3 | 1.2 | 1.1 | 1.1 | 1.1 |
| 水使用量（千$m^3$） | | 7.9 | 7.0 | 10.5 | 11.5 | 7.3 |

※年度：1月～12月
※温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用しました。2016年度は、海外拠点の算定では、GHGプロトコルを使用しました。

## 公正な事業慣行

公正な事業慣行を維持するため、横浜ゴムの行動規範をタイ語に翻訳し、全従業員に配布するとともに、その趣旨を説明し適切な行動を意識付けしています。

私たちは、安全規制に関する労働法に従いました。また、Anti-drugプロジェクトに参加しています。

## 消費者課題

社内では毎月1回品質改善ミーティングを行っています。
また、毎月1回実施しているマネジメントミーティングで問題点の共有化や改善方法について議論と決定を行っています。

## コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

地域への寄付（お金、物品）を毎年実施しています。
2016年はWat Thung Heangという修道士学校の水飲み場は屋外にあるため、雨の日は利用しにくい状態でした。
10月10-31日の間に、部品を工場で製造して、現地で組み立てました。

修道士学校の外観

屋根の完成を受けて記念撮影

水飲み場の状況